

2023. 3. 6

新設石垣駐屯地に車両搬入

防衛省 約200台、ミサイル発射機も

防衛省は五日、沖縄県・石垣島（石垣市）で、今月新設される陸上自衛隊石垣駐屯地に車両を搬入した。防衛省関係者によると、配備予定の車両は約二百台で、ミサイル発射機を含む大半が同日運び込まれた。

車両は石垣港のフェンスで囲われた区画に駐車されており、同日朝、搬入の準備が始まると「石垣島にミサイル基地はいらない！」と書かれたのぼりなどを掲げた反対派の市民ら数十人がゲート前で抗議し、一時

騒然となった。

反対派は午後、市内の公園で集会を開いた。主催者発表で二百人ほどが参加。石垣駐屯地近くに住む農業嶺井善さん（五七）は「日本中に伝えたいのは、先輩たち

が守ってきた自然を次の世代につなげたいという思いだけだ」と訴えた。集会後は市内を行進した。

石垣への自衛隊配備は南西諸島の防衛力強化の一環。駐屯地は定員約五百七十人。警備部隊のほか、上空の標的を狙う「03式中距離地对空誘導弾」や陸地から艦艇を攻撃する「12式地对艦誘導弾」などを置く。駐屯地では十六日に部内向けの編成完結行事があり、十八日にも弾薬が運び込まれる予定だ。



陸上自衛隊の駐屯地新設に反対し、デモ行進をする人たち
＝5日、沖縄県石垣市で